

北海道歯科衛生士専門学校における成績管理

1. 出席管理

- ①講義、実習については2/3以上の出席が必要
- ②臨地・臨床実習については4/5以上の出席が必要
- ③遅刻: 昼間部においては授業開始後30分以内、夜間部においては15分以内に入室した場合は遅刻(その後は欠席)
- ④早退: 昼間部においては授業終了前30分以内、夜間部においては15分以内に退室した場合は早退(それ以前は欠席)
- ⑤遅刻・早退は3回で欠席1回とする。

2. 講義および実習における合格基準

- ①筆記(実技)試験の成績、出席状況、受講態度等を総合的に評価する。
- ②五段階評価:「秀」(90点以上)、「優」(80点以上89点以下)、「良」(70点以上79点以下)、「可」(60点以上69点以下)および「不可」(59点以下)
- ③「秀」、「優」、「良」及び「可」を合格とし、「不可」を不合格とする。

3. 臨地・臨床実習における合格基準

- ①臨地・臨床実習先の指導者による評価、提出したレポート、出席状況等を総合的に評価する。
- ②五段階評価:「秀」(90点以上)、「優」(80点以上89点以下)、「良」(70点以上79点以下)、「可」(60点以上69点以下)および「不可」(59点以下)
- ③「秀」、「優」、「良」及び「可」を合格とし、「不可」を不合格とする。

4. 追試験・再試験

- ①追試験: やむを得ない理由で定期試験等を受験できなかったと認定された場合には、追試験を受験することができる。なお、追試験の満点は100点とする。
- ②再試験: 定期試験に不合格であった者、あるいはやむを得ないとは認められない理由で定期試験を受験しなかった者について行う試験である。なお、再試験の満点は60点とする。

5. Grade Point Average (GPA)を用いた成績評価

Grade Point (GP)については、秀を4、優を3、良を2、可を1、不可を0とし、評価を受けた授業科目のGPにその授業科目の単位数を乗じ、その合計を、履修届を出した履修科目の単位数の合計で除してGPAを算出する(下記の式)。

$$\frac{[(\text{評価を受けた授業科目のGP}) \times (\text{その科目の単位数})] \text{の合計}}{\text{履修した授業科目の単位数の合計}}$$

成績評価		GP
90点以上	秀	4
80～89点	優	3
70～79点	良	2
60～69点	可	1
不可・不履修		0



6. 成績評価の学生への通知

学生本人に、年度末に当該年度における成績及び主席状況について評価表を作成して通知している。

7. 学生指導への活用

半期ごとにGPAを算出し、GPAが2.5未満の学生に対してはクラス担任による個別面談を、また2.0未満の学生に対してはクラス担任と教務主任による個別面談、個別指導を実施している。

7. 卒業の認定

- ①当該学年に開講されるすべての授業科目に合格した者について進級を認める。
(選択必修分野については3年間で7単位以上)
- ②以下の各分野における授業科目をすべて履修し、単位を修得した者について卒業を認める。(選択必修分野については3年間で7単位以上)

<昼間部>

・基礎分野	12 単位 (180 単位時間)
・専門基礎分野	25 単位 (345 単位時間)
・専門分野	75 単位 (2,130 単位時間)
・選択必修分野	7 単位 (105 単位時間)
計	119 単位 (2,790 単位時間)

<夜間部>

・基礎分野	10 単位 (150 単位時間)
・専門基礎分野	22 単位 (330 単位時間)
・専門分野	55 単位 (1,660 単位時間)
・選択必修分野	7 単位 (105 単位時間)
計	94 単位 (2,245 単位時間)